

令和3年度 学校評価書

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「学びかた」の錬磨と授業の「おもしろ化」による「学美」の実現
～教科の特質に応じた「見方」「考え方」に着目して～



80名超の参観者が訪れた理科C T研



保健体育「柔道」の指定訪問研究会



不審者対応の避難訓練



2年生が主体となって初めての生徒総会

令和4年2月22日（火）
大館市立北陽中学校

V 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
「ゆるぎない学校の創造」へ、役に徹する職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	前期 おおむね良好 年度 おおむね良好	おおむね良好 良好	職員の足並みを揃えた取組はよくできている(意識している)。 ・学年主任を中心としたチームワークで生徒への働き掛けの連携ができています。 ・防災活動への生徒の意識はマンネリ化していないか。防災意識を高めていくためにはもう一工夫ほしい。 目先を変えていくことも必要でないか。町内会長たちにも趣旨を伝え工夫していくとよい。 学年部が協力して生徒の指導や支援をしていることが分かる。それが生徒と教師との信頼関係に結び付き、「心打つ振舞い」を意識した行動につながっている。また、地域のために頑張ろうという意欲が高まり、制限のある中でも可能な範囲で地域貢献している生徒の姿に心打たれる。その陰には、コロナ禍でも一生懸命に生徒の育成のために工夫して積極的に取り組んでいる教職員の姿が目につく。学校側の実践や願いは保護者に伝わっているが、より意識的に情報提供や意思疎通をしていく必要がある。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○まずは学校評価の項目について、年度当初の多忙な時期でも、よくよく吟味するのを感じた。今年度中に翌年度の構想をもっておきたい。</p> <p>○(1)(2)(3)について:「やーやー方式」「主任ランチミーティング」「会議のもち方」については、全職員が学校の運営に積極的に関わろうとする意欲の醸成、様々な意見や感じたことを声に出しやすい雰囲気づくりを意識していたかなければならないと考えている。</p> <p>○(4)(5)について:地域の教育力の活用については、コロナ禍でも可能な限り活用しているという現状である。今後も状況を見ながら適切に判断し、必要な対策を取りつつ実施可能なことを模索していかねばならないと感じている。生徒の数は低いが、アンケート実施時期の影響もあると分析している。夏休み中の地域防災活動や子どもハローワークにも、生徒は積極的に取り組んでいる。</p> <p>○保護者に対しては、今後も丁寧な対応と生徒自身の成長した姿によってしか信頼を得られないものと肝に銘じ、実践していくのみと感じている。全職員の足並みをそろえた実践ができるように常に確認・声掛けをしていく。</p> <p>○(1)(2)について:教職員一人一人が「組織」や自らの「役」を意識しているという手応えが前期よりも感じられた。教職員の数値もわずかながら上昇している。ランチミーティングは、今後、学年主任会と指導部長会の2種類を隔週で行い、組織のタテ・ヨコを機能させ具体的な動きにつなげていく。</p> <p>○(3)について:教務主任との連携を強め、職員会議や他の諸会議についても、ねらいやメンバー等を明確に周知・意図的・計画的に実施する。</p> <p>○(4)について:保護者に対しては、PTA三役との懇談の機会を増やしそれを通じて組織的な連携を強化しながら、生徒を通して個々のつながりもより積極的に構築していく。地域については、感染症対策をしながら可能な限り共に様々な活動ができた。地域防災活動については、来年度、3年に一度予定している講話等の年度である。その件も含めて防災教育全体の見直しを今年度3学期中に行う。そして来年度当初にねらいや意義、年間の見通しを確認することで、生徒も教職員も高い意識と自覚をもって実践していく。学校報配布方法については検討していく必要があると感じている。子どもハローワークへの参加は、生徒の主体性を一層促していく。</p> <p>○全体的に、生徒評価と教職員評価よりも保護者評価の数値が低い。次年度はアンケートの基準を再確認し、学校内の教育活動や生徒の様子を保護者に伝えるように、より意識した取組をしていく。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織的運営体制の確立	(1) 学校教育目標の妥当性の検証	「やーやー(課題名乗上げ)方式」経営戦略ミーティングの設置	3	3
	(2) 学年部組織の強化と効果的な学年間連携	副担任制の活用及び週1の主任ランチミーティング(メンバーは教頭、教務が決定)		
2 諸会議の効果的な運営	(3) 月1回の職員会議運営の充実	案件一覧に基づいた定例職員会議の実施・見通しがもてる提案	3	3
3 情報の発信の工夫 地域の教育力の活用	学校と家庭・地域をつなぐ諸通信の発行	地域生徒の接点強化(学校報配布に係る生徒の活用と指導場面としての運用)	3	3
	防災活動や地域行事、子どもハローワークへの積極的な参加	地域防災活動推進による地域とのつながり強化、地域行事参加への工夫、子どもハローワーク奨励		

[1]に関連するデータ

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員

【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

(1) 学校教育目標の妥当性の検証

- 北陽中生が目指す「心打つ振舞い」を意識して生活しようと思うか。
 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。
 「やーやー方式」経営戦略ミーティングの設置は、学校教育目標実現のために効果的に機能していたか。

R3年度	R3前期	増減
4.2	4.3	- 0.1
3.6	3.6	± 0.0
3.8	3.6	+ 0.2

(2) 学年部組織の強化と効果的な学年間連携

- 学級担任と副担任の先生は、協力して学級への指導や支援をしてくれたか。
 学年部の指導は、学年主任を中心として、学級担任や副担任が協力して組織的に行われていると思うか。
 副担任制の活用や主任ランチミーティングにより、学年部組織の強化及び学年間の連携が図られたか。

R3年度	R3前期	増減
4.8	4.7	+ 0.1
3.7	3.8	- 0.1
4.3	4.2	+ 0.1

[2]に関連するデータ

(3) 月1回の職員会議運営の充実

- 案件一覧に基づいた定例職員会議の実施、見通しのもてる提案により職員会議の充実が図られたか。

R3年度	R3前期	増減
3.8	4.0	- 0.2

[3]に関連するデータ

(4) 学校と家庭・地域をつなぐ諸通信の発行

- 学校報「北陽」を地域にも配布することは、地域とのつながり強化に役立っていると思うか。
 学校報「北陽」の全戸配布は、学校の様子を地域全体に効果的に発信し、生徒と地域をつなぐ取組になっているか。
 学校報や学年・学級だよりを通じて、学校や生徒の様子が御家庭に伝わっていると感じるか。
 諸通信などで情報発信を工夫し、学校と家庭、地域と生徒などの接点強化が図られたか。

R3年度	R3前期	増減
4.5	4.6	- 0.1
4.0	4.1	- 0.1
3.9	4.1	- 0.2
4.5	4.4	+ 0.1

(5) 防災活動や地域行事、子どもハローワークへの積極的な参加

- 地域防災活動や地域行事、子どもハローワークに積極的に取り組んだか。
 地域防災活動は、地域との結び付きを深める教育活動として効果的だと思うか。
 地域防災活動や地域行事、子どもハローワークへの参加を奨励し、地域とのつながりがより深められたか。

R3年度	R3前期	増減
3.5	3.3	+ 0.2
3.8	4.0	- 0.2
4.1	4.2	- 0.1



↑ 地域の方々・保護者の皆さんと一緒に花壇作業ができました。



↑ 冬の地域防災活動。地域・保護者の皆さん、小学生と共に除雪作業に汗を流しました。



↑ 子どもハローワークを通して「矢立ふるさとカルタ」絵札制作にお手伝い。完成したカルタを北陽中生もいただきました。

ア 学校運営の状況

II 企画・調整

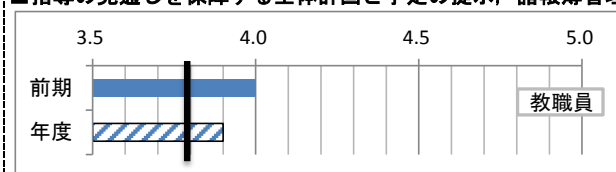
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	・コロナ禍ではあったが、運動会や修学旅行などの行事を行うことができ、生徒の達成感も十分であった。 ・教科を超えて見合う機会が充実している。「学びの型」と突き抜ける仕掛けについては、基本線を確認することに重点を置いてほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	コロナ禍であつてもリモートなどの工夫により、生徒が主体的に取り組み満足している様子が見えてくる。授業については、外部からの評価を励みに、日常の授業での共通理解や情報の共有を大事にし、研修を深め、授業以外にも生かしてほしい。特別支援学級では、より個に応じた指導ができるように細かな教育課程、指導計画が必要ではないか。主任・部長は生徒の現状をよく分析し、それに応じた施策を職員に示したい。
自己評価の概要と学校の改善策	○(5)に関する教職員の評価は4.0であったが、日課及び会議等の連絡・調整が不十分であった。また、通知票に関しても見通しが悪く、先生方には迷惑をかけてしまったことを反省している。2学期以降は見通しを保障する全体計画と予定の提示を徹底していきたい。			
	○(6)に関する評価は生徒、保護者、教職員とも高評価であった。実施すべき各行事を感染症対策を徹底し行うことができた。昨年よりも感染状況はよくない状況ではあったが各指導部、各学年が様々な対策や工夫を講じて無事に終わられたことに感謝したい。2学期も各行事で指導部、学年部と連絡を密にしなが、生徒の主体性を育てられるようにしていきたい。			
	○(7)に関して、教科の枠を超え、全職員で「見方・考え方」を意識した指導案検討会や授業研究会ができた。互いの授業を見合う学芸ツアーは、教師間でも生徒間でも行った。どの取組も視点を絞って、実りあるものにした。生徒や保護者アンケートからも教師の授業へ臨む思いや教材研究の重要性を強く感じた前期だった。今年度は校外研修に恵まれているため、得た情報を共有しながら研究を深めていきたい。			
	○(8)に関して、具体的な取組ができなかった。学習指導部や学習委員会と連携し、「学びの型」の再確認をしたり、型を超えた北陽中生の姿をイメージしたりすることから取り組みたい。また、共感的な学び合いを生む学習形態について生徒から声が上がると、教師が事前の仕掛けを工夫したい。			
○(5)に関して、ご指摘の通り日課及び会議等の連絡・調整が不十分であった。今後は各指導部との連携を強め、調整を図ってきたい。				
○今学期、昨年度よりも感染状況は悪く残念ながら中止を余儀なくされた行事もあった。しかし、感染対策を徹底し学校祭を無事に終わることができたことに、感謝申し上げたい。「行事を通して生徒を育てる」「行事を通して地域に感謝の気持ちを表す」このねらいを、教職員、生徒が共通理解することで一体感や達成感につながったと思われる。また、今学期はキャリア講演会をリモートにより実施した。時間や距離の制限がなくなることで様々な可能性が考えられる。今後の行事にも生かしていきたい。				
○(7)(8)のどちらに関しても、教職員は成果を感じているものの、生徒や保護者ははっきりと実感していないことがアンケート結果から分かる。教職員の研修については、「見方・考え方」「型を超えた生徒の姿」に視点を絞って前期より深まる指導案検討会や授業研究会ができた。また、長期研修員を通じた岡山県との研修、全国キャリア研究会などの外部の方々から評価をしていただける機会に恵まれた。課題は日々の実践である。日常の授業についての共通理解や情報共有の機会を増やし、学習指導要領と生徒の実態を基に、たくさんの研修で得た学びを授業で生かしていきたい。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	指導の見通しを保障する全体計画と予定の提示、学校帳簿作成手順の周知と管理	4	3
	(6)心を動かす学校行事の工夫	3大行事(運動会、学校祭、卒業式)に対する生徒の目の色を変える仕掛け		
5 課題解決のクローズアップ	(7)「深い学び」の共通理解と具体的実践	教科の特質に応じた「見方・考え方」に着目した授業実践、教科の枠を超えた研修	3	3
	(8)「学芸」の基盤の確立	「学びの型」を突き抜けるための仕掛け		

○学校評価アンケートの数値から(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価[5:大変よい~3:おおむねよい~1:不十分]
(太線は、アンケート項目全体の平均値 ○生徒4.2 □保護者3.5 ■教職員3.8)

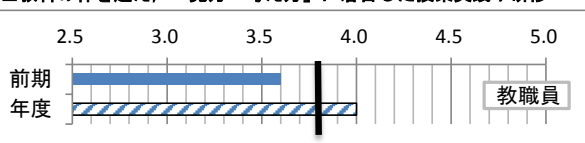
【(5)に関連するデータ】

■指導の見通しを保障する全体計画と予定の提示、諸帳簿管理



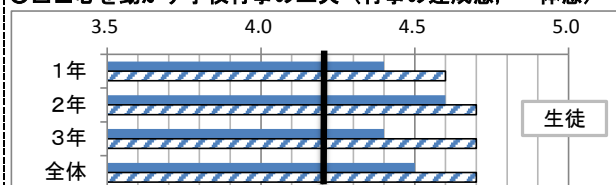
【(7)に関連するデータ】

■教科の枠を超え、「見方・考え方」に着目した授業実践や研修



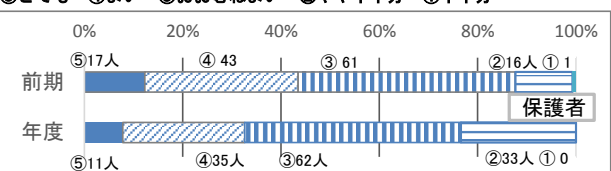
【(6)に関連するデータ】 上段:前期 下段:年度

○□■心を動かす学校行事の工夫(行事の達成感、一体感)

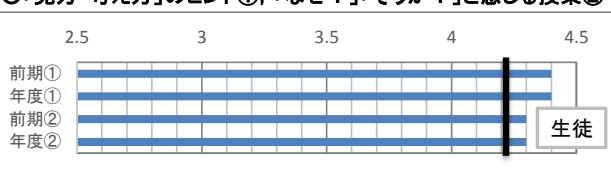


□学校での教科指導について

⑤とても ④よい ③おおむねよい ②やや不十分 ①不十分

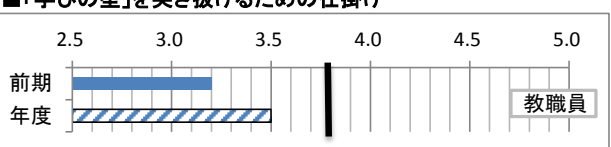


○「見方・考え方」のヒント①、「なぜ?」「そうか!」と感じる授業②



【(8)に関連するデータ】

■「学びの型」を突き抜けるための仕掛け



イ 生徒の状況

Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付けるように取り組んでいる。	前期	おおむね良好	・授業では、学習形態(座席を替えたり相談したり)を工夫している。 ・生徒は、発問に対する反応もよく、積極的な学びが見られる。 ・個々の理解度を把握するための時間内評価の活用を一層充実し、今後もドリルなどでアフターケアをお願いしたい。 ・家庭での読書の奨励について、引き続き呼び掛けてもらいたい。
	年度	おおむね良好	生徒の授業アンケート結果の数値が高く、自主的・意欲的に取り組んでいることがうかがえる。積極的な挙手や発表、反応は小学生の手本でもある。前期よりも向上している項目が多く、教師が日々工夫して授業に臨んでいることが分かる。しかし、家庭学習や家庭における読書時間が依然として少ないことが気になる。小学校段階からの習慣化とも関連があるかもしれない。校区内4小中での共通した取組も手立てとして考えられる。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○「主体的な学習態度の育成」について、生徒自身は意欲的に授業に取り組んでいると評価している。それは、全員挙手やつなぎ合いなど、これまで北陽中で続けられてきたことが身に付いているためと考えられる。今後は教師が計画しリードする部分と、生徒が考え行動する部分を再確認して徹底することで、課題の解決に向かって主体的に学習に取り組むことができる生徒の育成を目指していく。</p> <p>○「確かな学力」を付けるために、授業のねらいに沿って学習形態や座席配置を変えたり、単元の中で計画的にタブレットなどICTを活用したりするなど、各教科で手立てを工夫をしている。</p> <p>○PUDやPUNは、教科や学年の枠を超えて全職員が協力して個別に対応しているため、生徒からの評価も高い。今後は1学期成果が見られた方法を、他の教科に生かすことができるように全体で共有していく。1学期は学習委員会の活動として、手本となるPUNを「家庭学習GOODさん」として掲示したり委員会だよりで紹介したり。今後も継続して、他の生徒のノートを参考にすることで、学習意欲の向上に結び付けたい。</p> <p>○(9)について：生徒はチャイム学習の習慣は付いており、話合いも意欲的に行っている。さらに話合いが深まるよう、学習委員会で「話合いの型」を提案したが、実際使用してみるとうまく定着しなかった。3学期、委員会で新たな提案をしていきたい。(9)の生徒の評価と教職員の評価を比べると、1ポイントの差があり、主体的な学習態度がどういものなのか意識の差があるように感じる。学習委員を通し、各教科のチャイム学習の内容を紹介したり、なぜ学ぶのかという進路学習と関連付けたりして、生徒に問いを投げかけたい。</p> <p>○(10)(11)について：授業の充実のために各教科で工夫したことで、生徒も教職員の評価も上がっている。今後は生徒の力を高めるために、計画的に取り組むことが求められる。そのため、PUDを指導部の年間計画に入れる。また、「できない・分からない」を「分かる」にできるようにするためのものであると確認し、グループ分けの基準にしよう。来年度も活用できるように、3学期から資料の蓄積やデータ化を行う。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 「学びかた」の指導	(9) 主体的学習態度の育成	集団学びの「型」の策定と定着	3	3
7 確かな学力	(10) 授業の充実	一人たりとも置き去りにしない学習形態の工夫と小集団学習の恒常化 生徒の「？」や「！」を引き出す教材研究	3	3
	(11) 生徒の力を高める諸活動	個に応じたPUNやドリル学習などの工夫、読書活動の実施		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価 {5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

[6]に関連するデータ

(9) 主体的学習態度の育成

○チャイム学習にしっかり取り組みましたか。
○聞く、反応、発表、学習活動などに、意欲的に取り組みましたか。
□お子さんは、学校の授業や教科指導について、分かりやすいと言っていますか。
■集団学びの「型」の策定と定着により、主体的学習態度の育成が図られたか。

R3年度	R3前期	増減
4.5	4.4	+0.1
4.6	4.5	+0.1
3.2	3.4	-0.2
3.4	3.3	+0.1

[7]に関連するデータ

(10) 授業の充実

○発表、話合い、意見交換など、友達と学び合う活動がありましたか。
○電子黒板やデジタル教科書、タブレットなどが活用されましたか。
○ペア、グループ、小集団など、少人数での学習活動がありましたか。
○「なぜ？」や「そうか！」と感ずることが授業の中でありましたか。
□お子さんは、学校の授業や教科指導について、分かりやすいと言っていますか。
■一人たりとも置き去りにしない授業を目指し、学習形態の工夫と小集団の恒常化が図られたか。
■生徒の「？」や「！」を引き出す教材研究がなされていたか。

R3年度	R3前期	増減
4.6	4.5	+0.1
4.1	3.7	+0.4
4.6	4.6	±0
4.5	4.3	+0.2
3.2	3.4	-0.2
3.6	3.2	+0.4
3.4	3.2	+0.2

(11) 生徒の力を高める諸活動

○PUDによって、苦手なところが分かるようになったりできるようになりましたか。
○学校や家で、自分から進んで読書をしていますか。
□お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいますか。
□お子さんは、家で読書をしますか。
■個に応じたPUNやドリル学習の工夫、読書活動の推進がなされていたか。

R3年度	R3前期	増減
4.1	4.2	-0.1
3.4	3.6	-0.2
3.3	3.3	±0
2.2	2.3	-0.1
3.8	3.6	+0.2

イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	・生徒が困った時に相談しやすい体制ができています。 ・熱中症やコロナに対しての生徒主体の働き掛けも効果が表れている。 ・メディアについては、継続的な指導をお願いするとともに、生活習慣が改善されるよう保護者に働き掛けるようにしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	年度 おおむね 良好	良好	生徒主体による規律ある生活を目指す取組は評価できる。生徒は集団や自己の望ましい在り方を理解している。感染予防対策も充実しており、withコロナ時代を生き抜かなければならない生徒にとって、この取組や経験は有効である。生徒の悩み事や相談事に対して、教職員の積極的・共感的な関わりがあり、生徒にそれが心地よく受け入れられている。メディアコントロールの達成率が他校よりも低くなっていることに対し、保護者の協力を得て健全な生活習慣の育成・指導を継続してほしい。
			<p>○前年度に比べて下回っている項目の多くは「メディアコントロール」である。保護者や教職員など大人がイメージする望ましいメディアコントロールと、生徒自身がイメージするものと隔たりがあると考えられる。これまでも、PTA参観日に警察や携帯電話会社から講師を呼んで講演会を開いたり、授業や短学活等を通してメディアリテラシーについて注意喚起してきた。今後は、生徒たちによるメディアコントロールに関するルールづくりの場を設けるなど、自分事と捉えて実践しようとする気概を育てていきたい。</p> <p>○今年度は、熱中症対策としてのスーパークールビズの運用について、保健委員長や生活向上委員長の2人が話し合って全校生徒に呼びかけている。今後も、委員会活動や集会等を通して、生徒自らが「暮らしかた」を見直し、北陽中生としての振舞いを高められるよう、働きかけていきたい。</p> <p>○「日常的・積極的な教育相談と生徒理解」の各項目では、いずれも4以上となっており、先生方による日々の生徒との関わりによるものと思われる。しかし、「相談すると、先生方は自分の気持ちに寄り添ったり、すぐに対応したりしてくれますか。」の項目では、前年度から-0.2となっている。生徒が悩んだり困ったりしているときに相談しやすい雰囲気作りを心掛け、相談を受けたら情報の共有を図り、教職員全体で速やかな対応を図ることを、これまで以上に心がけていきたい。</p> <p>○(12)について「暮らしかた」の見直しを通して、気付いたことは声を上げて行動できる生徒の育成を目指す、動き出しの1年目だった。文部科学省職員の弓岡さんとオンラインで校則について全校ディスカッションを行った。それを受けて生活向上委員会や生徒会を中心に校則見直しに向けた準備を進めている。こうした動きに、生徒の数値は上昇しているが、保護者の数値が低下している。全校集会などを通して共通理解のもと歩みを進め、生徒作成のおたより等で周知するとともに、メール配信サービスの活用も視野に入れながら、学校の取組に対する理解を一層深められるようにする。</p> <p>○(13)について：大館市学校保健部会が行っている「メディアコントロール週間」の調査報告を受け、北陽地区の小・中学校の保健委員が連携して、メディア依存に注意を促す動画を作成した。感染予防対策も含めて自分事として捉えられるよう、「どうしたら改善するだろうか」と問いかけながら、生徒のアイデアを取り入れた委員会活動や学級活動を、特活指導部と連携して促していく。</p> <p>○(14)について：教育相談や各種アンケートなどを活用して、生徒の不安や悩みを素早く共有し、学年部あるいは全職員で対応することを心掛けている。一方で、即座に解決できるものもあれば、長い時間をかけて向き合っていく必要がある内容もある。教育相談や生徒支援で得た情報を整理して蓄積し、全職員で共有するとともに、スムーズな引き継ぎや迅速な対応につなげていく。</p>

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	日常生活における「振舞い」の提示と実践意欲の喚起(共通実践事項等) 生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	3	3
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	メディアコントロール運動を中心とした望ましい生活習慣の意識高揚・定着 生徒の危機意識を持続させる感染予防対策	3	3
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	いじめの未然防止と即時対応、不登校の生徒に寄り添った組織的支援	3	4

(○生徒 □保護者 ■教職員)

※5段階評価 { 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分 }

[8に関連するデータ] (12)安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導

- 北陽中生が目指す「心打つ振舞い」を意識して生活しようと思いませんか。
- 北陽中の「暮らしかた」を見直し、よりよい学校生活について考えましたか。
- 学校では、目指す「心打つ振舞い」の実現のために、生徒の意欲を引き出し、指導していると思いませんか。
- 安心・安全で規律ある生活のために、学校は生徒と一緒に生活のルールを見直しながら指導をしている。
- 共通実践事項等により、日常生活における「振舞い」の提示と実践意欲の喚起が図られたか。
- 生徒による「暮らしかた」の見直しと充実が行われ、規律ある学校生活が推進されたか。

R3年度	R3前期	増減
4.2	4.3	- 0.1
4.2	4.0	+ 0.2
3.5	4.3	- 0.8
3.7	4.6	- 0.9
3.9	4.0	- 0.1
3.8	3.6	+ 0.2

[9に関連するデータ] (13)健全な生活習慣の育成

- メディアコントロールを意識して生活していますか。
- マスク着用、手洗い、換気、3密回避など、感染症予防対策を積極的に実践しましたか。
- 生徒の心と体の健康のために、学校は望ましい生活習慣の指導を行っていると思いませんか。
- 学校における感染症予防対策は適切で、生徒自身の危機意識が育っていると思いませんか。
- 「メディアコントロール運動」を中心とした、健全で望ましい生活習慣の育成が図られたか。
- 生徒の危機意識を持続させる感染予防対策がなされていたか。

R3年度	R3前期	増減
3.6	3.6	± 0
4.5	4.4	+ 0.1
3.7	4.1	- 0.4
4.1	3.9	+ 0.2
3.4	2.8	+ 0.6
4.3	4.1	+ 0.2

[10に関連するデータ] (14)日常的・積極的な教育相談と生徒理解

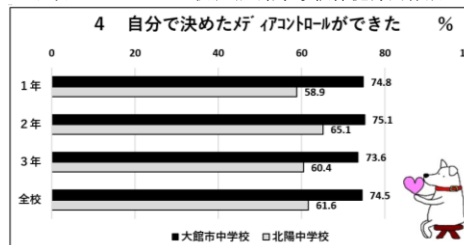
- さまざまな悩み事や困り事を、気軽に先生方に相談できる雰囲気がありますか。
- 相談すると、先生方は自分の気持ちに寄り添ったり、すぐに対応したりしてくれますか。
- いじめの未然防止と即時対応、不登校の生徒に寄り添った組織的支援がなされていたか。

R3年度	R3前期	増減
4.2	4.2	± 0
4.4	4.4	± 0
4.0	4.0	± 0

文部科学省職員の弓岡さんと、オンラインで校則に関する全校集会の様子



メディアコントロールの状況(大館市学校保健部会作成「ONE STEP UP」より抜粋)



大館市内中学校の傾向
市内全体の達成率は昨年とほぼ変わらなかった。学年による差はほぼなかった。(毎日○だった人の割合:40.1%)
北陽中の傾向
全学年、他の項目に比べて達成率が低い。(毎日○だった人の割合:1年生20.0%、2年生25.6%、3年生15.2%)

イ 生徒の状況

Ⅴ 思いやりの心、たくましい心

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつなにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	前期	良好	良好	一人一人のよさを引き出したり生徒に寄り添ったりと、共感的・協働的な環境づくりをし、居心地のよい学校・学級づくりがされている。 ・集会や行事の進めかたにも、主体的に活動できるような気配りが見られる。
	年度	良好	良好	生徒の主体性を重んじた働き掛けにより、望ましい雰囲気醸成につながっている。生徒は学級活動、生徒会活動、部活動などに伸び伸びと参加し、仲間と心をつなにして目標に向かっていく。アンケートから、互いに認め協力し合って学校生活を送ろうという意識が高いことが読み取れる。今後は個々の「挑みかた」の育成に更に尽力してほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○短学活で日直がスピーチをし、それに対して質問や反応する場面をつくっている。また、生徒の自発的な行為を紹介する「ちょいボラ」などお互いの良さを認め合う場面を意図的に設定した。</p> <p>○部活動強調期間に、吹奏楽部と学芸部が各部を応援して回る「応援ツアー」を行った。また、部活動開始時に生徒達が自主的に放送にて応援メッセージを送る取組も行い、各部の士気を高めることができた。</p> <p>○激励会は昨年度同様に声掛けなどに制限を設けた形で行ったが、返事や校歌など限られた活動の中で精一杯の意気込みを表現した。</p> <p>○キャプテン会議を定期的に行い、部活動に向かう意識を高めた。また、新チームになってからの活動がスムーズに始まるように、6月のキャプテン会議には2年生と一緒に参加させた。</p> <p>○集会や行事で教師の指導をいれなければいけない場面が多かった。生徒が主体的に活動できるように、生徒が頑張る部分と教師が頑張る部分を明確に理解し、事前指導や準備をしっかりとしていきたい。</p> <p>○(15)について:短学活で日直のスピーチに対して質問や反応する機会を継続してきたことで、自然に質問や反応が出てくるようになってきている。今後も生徒同士が関わり合い、共感的協働性を発揮させられる機会を意図的に設定し、学級担任同士で情報交換をしていく。</p> <p>○(16)について:体育委員による「円陣バス大会」や保健委員による「冬休みの過ごし方についての啓発動画作成」など、全校を楽ませたり健康意識を高めたりする活動を生徒が発案し行うことができた。生徒会役員の入れ替わりの際には、各学年で自分の新たな役割に臨む姿勢を指導したことで、後期の活動に意欲的に取り組むことができていく。今後も事前指導をきっちり行うことで成功体験を積み重ねさせたり、学校生活をよりよくするための気付きを促すしかけを行っていく。</p> <p>○(17)について:選手たちの士気を高めることができるよう、秋季総体に向けての応援メッセージを学級委員と学芸部員が放送したことで、全校一丸となって大会に向かうことができた。大会前や長期休業前にキャプテン会議を定期的に行った。各部から整理整頓や真剣に練習に向かう姿勢が課題として挙げられている。部担当と部員全員で基本的な取組を徹底し、心をつなにして目標に向かっていく集団としたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活を目指す学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4	4
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	生徒の気付きを引き出し、具体的な手立てを考え実践・検証できる生徒会活動	4	4
	(17) 仲間と心をつなにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	部活動の心得「北陽魂」の発行、心揺さぶる激励会、部活動強調週間の工夫		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11に関連するデータ] ※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	R3年度	R3前期	増減
○学級では、一人一人のよさを発揮できるような学活、朝・帰りの会が行われていますか。	4.4	4.4	0
○学級では、お互いのよさを認め合っており、居心地がいいと感じられますか。	4.2	4.1	0.1
■共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践に努め、個のよさが発揮されていたか。	3.8	3.7	0.1

[12に関連するデータ]

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	R3年度	R3前期	増減
○委員会活動や集会では、自分の役割に責任をもち、積極的に活動していますか。	4.4	4.2	0.2
○よりよい学校をつくるため、委員会などで意見を出したり、工夫した活動をしたりしていますか。	4.2	4.1	0.1
□生徒会活動は、生徒の主体的かつ積極的な活動になっており、創意工夫が感じられますか。	3.7	3.9	-0.2
■生徒の気付きを引き出し、具体的な手立てを考え実践・検証できる生徒会活動が進められていたか。	3.8	3.7	0.1

(17) 仲間と心をつなにし、目標に向かう部活動

	R3年度	R3前期	増減
○毎日の部活動に一生懸命に取り組んでいますか。	4.5	4.5	0
○部活動強調期間や激励会では、より積極的に取り組み、達成感がありましたか。	4.4	4.5	-0.1
□部活動において、生徒が心をつなにして目標に向かうための指導は、適切に行われていると思いますか。	3.5	3.6	-0.1
■「北陽魂」を旗印とした部活動運営、心揺さぶる激励会、部活動強調週間の工夫がなされていたか。	4	4.1	-0.1



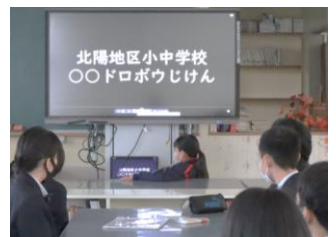
秋季総体激励会 3年生からの激励



生徒会長から全校討議に向けて



体育委員会企画 円陣バス大会



保健委員作成の啓発動画